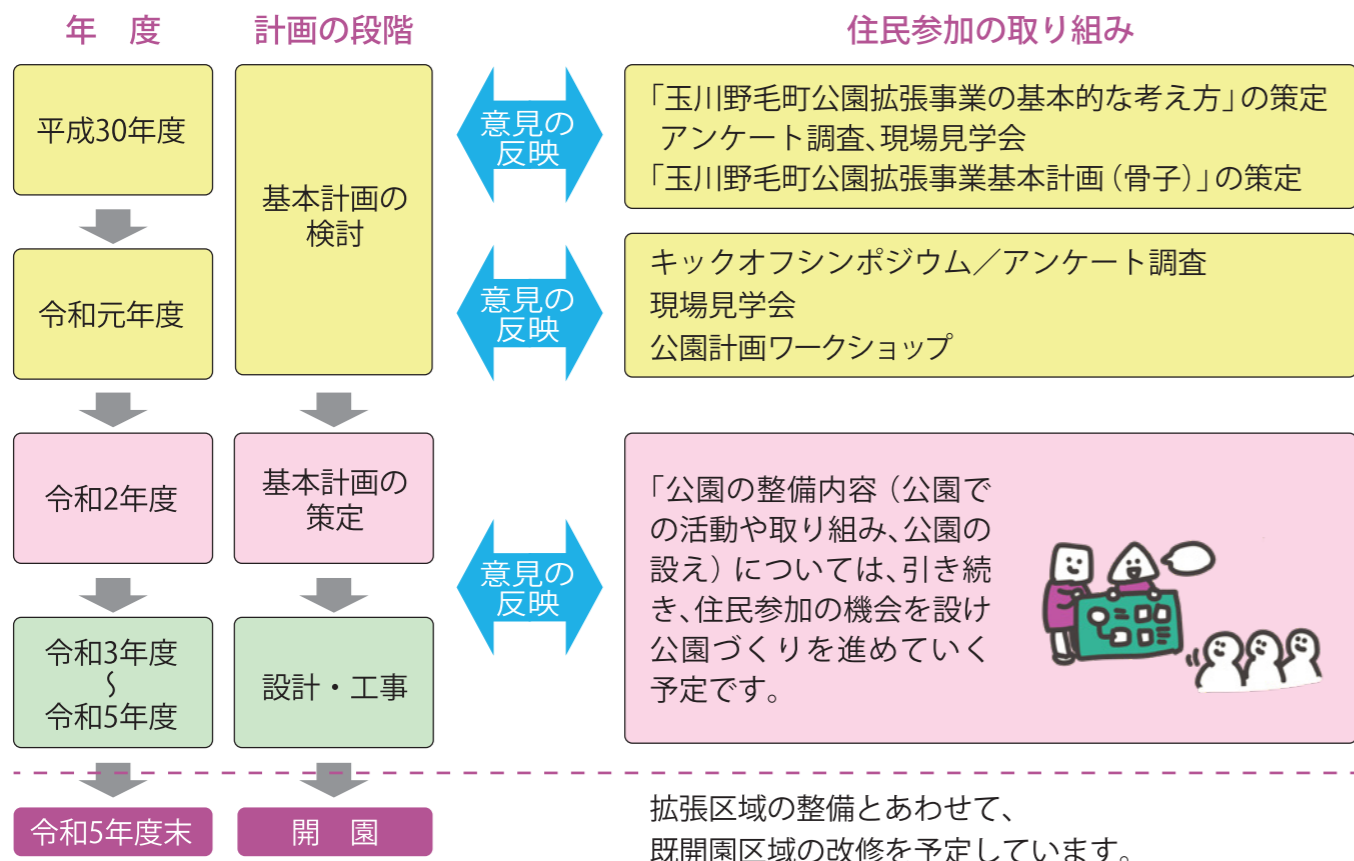


玉川野毛町公園拡張事業の流れ(予定)

令和5年度末(令和6年3月)の開園を旨とし、玉川野毛町公園の拡張事業を進めています。区民や事業者と協働して公園づくりを段階的に進めていきます。



住民参加の公園づくりについて

以下の方法で、住民参加を行いながら公園づくりを進めてまいります。具体的な内容は、その都度お伝えする予定です。

情報の提供・ニュース

- ・区のお知らせ
- ・ホームページ
- ・シンポジウムなど



意見・要望の集約

- ・アンケート
- ・現場説明会など



公園整備内容の検討

- ・ワークショップなど



玉川野毛町公園拡張 検索

区のホームページの検索窓にて「玉川野毛町公園拡張」と検索ください。「玉川野毛町公園が広がります」のページに掲載しています。

ホーム>目次から探す>区政情報>施設>公園・農園・緑道>公園・緑地>公園に関するお知らせ>玉川野毛町公園が新たに広がります

令和2年度の予定

令和元年度までの住民参加の取り組みを踏まえて、基本計画を策定します。基本計画の内容や住民参加の機会については、引き続き、区のホームページや公園づくりニュース等でお知らせします。



問合せ先

世田谷区みどり33推進担当部公園緑地課 建設担当 津田、小野
〒154-8504 世田谷区世田谷4-24-1 城山分庁舎1階

電話：03-5432-2478
FAX：03-5432-3083



発行：令和2年3月

公園づくり ニュース 第4号

公園づくりニュースでは、玉川野毛町公園拡張事業の取り組みについてお知らせします。

令和元年度の住民参加の取り組みについて報告します。

令和元年度は、基本計画(素案)の策定に向けて、区民、事業者と協働の公園づくりを具体的に進めてまいりました。

キックオフシンポジウムの開催について

令和元年9月、区民、事業者と協働して公園づくりを進めていくスタートとして、これからの公園づくりを考えるシンポジウムを開催しました。



シンポジウム
→ P4・5

アンケートや現場見学会の開催について

令和元年8月から11月にかけて、平成30年度にとりまとめた基本計画(骨子)に対するアンケート調査や現場見学会を開催し、地域の皆様のご意見をお聞きしました。



アンケート調査
→ P2
現場見学会
→ P3

ワークショップの開催について

令和元年11月から令和2年2月にかけて、公園づくりについて具体的に検討を行うワークショップ(2回)を開催し、現地の状況を見ながら、アンケート調査等による地域の皆様のご意見を踏まえ、どんな公園にしたらいかが活発に意見交換を行いました。第3回については、新型コロナウイルスの影響により延期となりました。



ワークショップ
→ P6・7

玉川野毛町公園内野毛大塚古墳



拡張区域内の様子



玉川野毛町公園の位置

✓ アンケート調査を実施しました

方法：近隣1km圏内へ配布
実施期間：8/24(火)～9/30(月)

配布部数：13,353部
回収数：438件
回収率：約3.3%



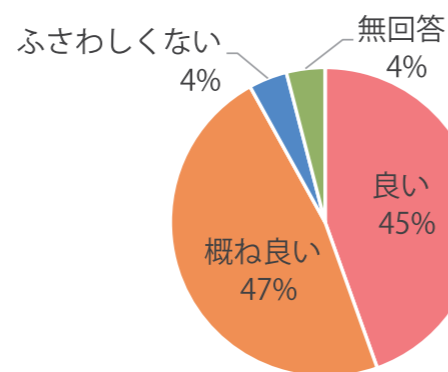
玉川野毛町公園拡張事業基本計画(骨子)に対するアンケート調査を実施しました。

基本計画(骨子)に対しては、良い・概ね良いと回答した方が約90%でした。公園でどんなことがしたいかについては、「公園内のカフェなどでお茶を飲みたい」「四季折々の花を楽しみたい」「散策や回遊をしたい」「座ってくつろぎたい」というご意見を多くいただきました。

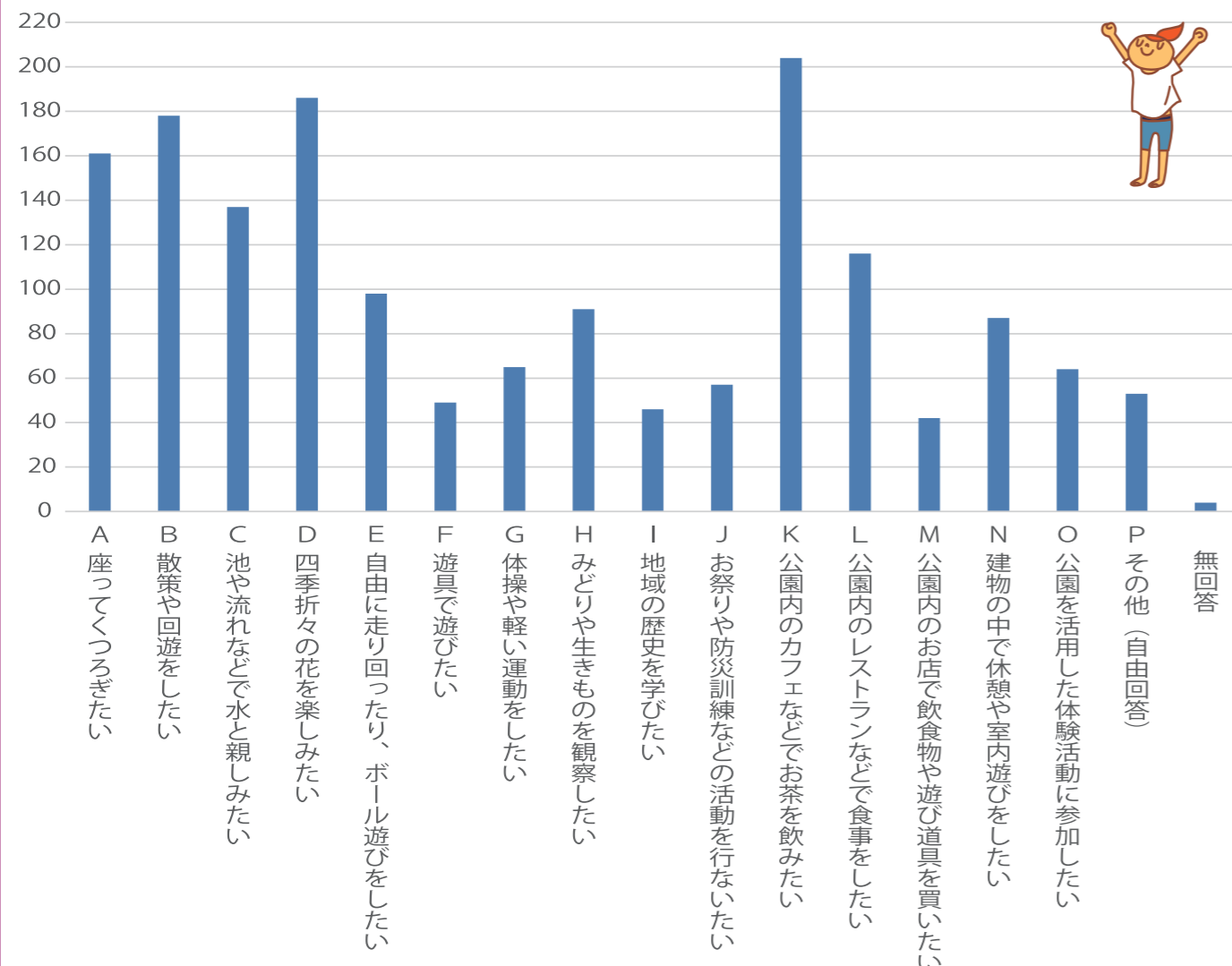
基本計画(骨子)に対するアンケート結果について、詳しくは区HPに掲載しています。HPへのアクセス方法については、P8をご参照ください。



問1 玉川野毛町公園拡張事業基本計画(骨子)に対してどのような印象をお持ちですか。



問2 基本計画(骨子)を踏まえ、玉川野毛町公園でどんなことがしたいですか。



✓ 現場見学会を実施しました

日時：10/2(水)、10/6(日) 9:30～15:30
会場：玉川野毛町公園拡張区域
参加人数：約200人



玉川野毛町公園拡張事業基本計画(骨子)の事業紹介パネル等を展示し、自由に拡張区域を見学していただきました。

ご来場された方には、アンケートにご協力いただきました。

当日は、野毛大塚古墳のことをもっと知ってもらうため、学芸員による野毛大塚古墳ガイドツアーも行いました。



参加者の主な意見・感想

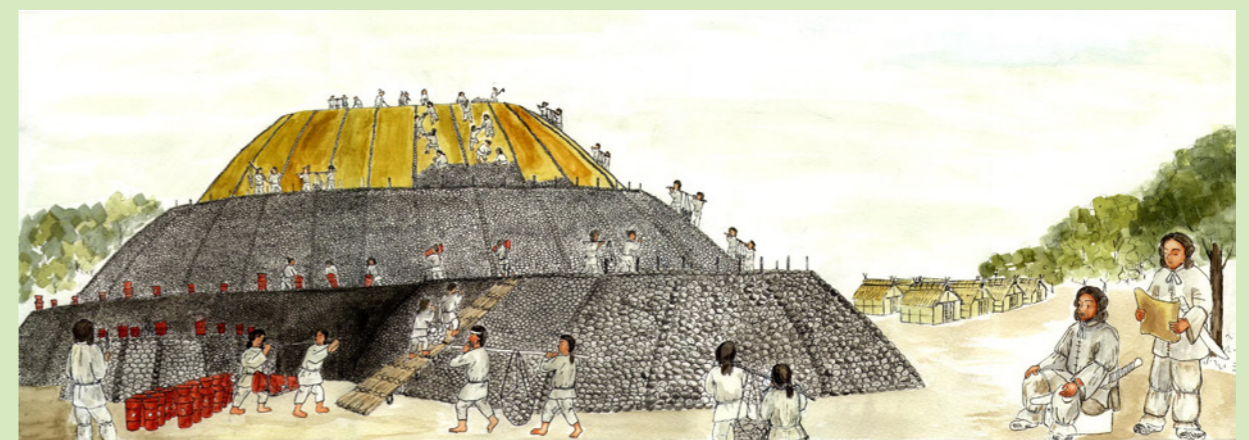
- ・ 既存樹木を活かして木々の間を散策したり、自然や花を楽しんだり、ゆっくり自然の中でくつろぎたい。
- ・ ツアーやガイド、展示等で野毛大塚古墳について知ることのできる仕組みがあると良い。
- ・ 防犯、防災対策をしっかりしてほしい。
- ・ 100年後はみどり豊かな自然あふれる公園になってほしい。

現場見学会を開催した際のアンケート結果について、詳しくは区HPに掲載しています。HPへのアクセス方法については、P8をご参照ください。



野毛大塚古墳とは？

野毛大塚古墳は今から1,600年余り前につくられた帆立貝形の古墳で、南武蔵(現在の東京都、川崎市と横浜市の北部) 一帯を治めた大首長が眠っています。全長82メートル、高さ11メートルの強大な古墳で、表面は「葺石(ふきいし)」とよばれる河原石で覆われていました。晴れた日には武蔵の緑の丘の上に燦然と白く輝いていたことでしょう。



(世田谷区教育委員会事務局生涯学習・地域学校連携課文化財係監修)

✓ シンポジウムを実施しました

日時：9/22（日）13:00～15:00
会場：玉川区民会館
参加人数：約90人



区民との協働による公園づくりを進めていくスタートとして、公園づくりの様々な視点を学び学ぶことを目的に、キックオフシンポジウムを開催しました。キックオフシンポジウムは、「基調講演」と「パネルディスカッション」の二部構成で行いました。

「基調講演」では、東京農業大学元学長の進士五十八先生に「公園革命時代のこれからの公園」をテーマにお話いただきました。

「パネルディスカッション」では、様々な分野の専門家の皆様に「区民との協働による公園づくり」について意見交換していただきました。

～プログラム～

- ①開会あいさつ
- ②基調講演
「公園革命時代のこれからの公園」
- ③玉川野毛町公園拡張事業の紹介
- ④パネルディスカッション
「区民との協働による公園づくり」

基調講演「公園革命時代のこれからの公園」

「公園だけを見るのではなく、世田谷区全体、東京全体を考える必要があること」、「様々な要望をただ受け入れるのではなく、その土地に根付いたその土地ならではの一品生産ということを大切にすること」など、これからの公園づくりの視点について教えていただきました。



基調講演の様子

パネルディスカッション「区民との協働による公園づくり」

参加者の方々からの質問をもとに様々な視点で意見交換をしました。

玉川野毛町公園の公園づくりの視点では、「既存のみどりや既存資源を踏まえつつ、みどりのネットワークに着目すること、地域の核、暮らしの舞台として公園を考えることが大事である」。また、住民参加の視点では、「私たちが野毛町公園に期待するもの、本当に創り出したい未来がどういうものなのかをしっかりと考えることが最初の一步である。その後カタチを決める、機能を定める等の進め方が必要ではないか」とお話いただきました。



パネルディスカッションの様子

右記のパネルディスカッションの内容については、区HPに掲載しています。HPへのアクセス方法については、P8をご参照ください。

パネルディスカッションの内容



久保田ナオゲ

1. 公園の将来像について

どんな公園がいい？

- 100年後もよいと思える公園に出来たらいい。
- この地域に住みたい人、訪れたい人が増えるようないい公園にしたい。
- それを見つけ出すのがこれからのワークショップ、みんなの意見を聞きながら決めていく。



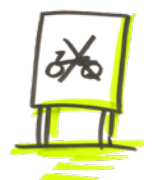
2. ワークショップについて

いい住民参加ワークショップとは？

- 一つの公園だけで考えない。未来の住人の気持ちを考えてプランを作る。
- どんな時間を過ごすかみんなが理解し合う。

みんなの意見をどうまとめたらよい？

- みんなの声をただ集めただけだと、誰も欲しくないパッチワークの公園になってしまう。禁止ルールがたくさんある公園は、住民要望を一方向的に聞いた結果である。みんなの意見を共有することが大切。



3. 住民参加の公園運営について

二子玉川公園のサポーターはどんな活動している？

- みどり、こども、安全安心の3つのグループにわかれて活動している。

二子玉川公園の樹木の育成について

- 水はけの悪いところは樹木の生長がよくない。
- 対策についてサポーターと区で一緒に考えている。



4. 野毛大塚古墳について

古墳は古代権力者がいた証。これからどうにかしていく？

- 子どもが身近に歴史を学ぶ資料になって欲しい。

- 中に入れるような展示は？
- たてあな式のため難しい。



参加者の主な意見・感想

- ・環境を大切にしたい計画にしてほしい。
- ・安全で魅力ある公園にしてほしい。
- ・自然むき出しのままの公園。
- ・次世代に続いていくような、人の循環がある皆が大好きな公園になってほしい。
- ・公園維持管理のボランティアがあれば参加したい。
- ・今の子どもたちが、10年後、20年後に今度は親世代として「公園に来たい！」と思えるような公園になってほしい。

